

2 災害情報を集約するシステムを試験導入

災害情報の早期把握で市民の安全安心を確保

昨年9月の台風15号では、夜間の豪雨や冠水により、職員による情報収集が難しく、被害の状況が翌日まで分からない状況でした。

そのため、一般の方が投稿したSNS情報を検知し、様々な被害状況等を迅速に集約できるシステム（株式会社JX通信社が開発）を導入し、災害情報の早期把握に努めます。

1 事業概要

① SNSに投稿された災害情報を集約するシステム導入

SNSに投稿された情報を「磐田市」をキーワードに集約することができるシステムを導入します。偽情報はAIにより排除されますので、正確に近い情報収集が可能です。また、時系列で表示されることから対応の優先順位付けの参考になるとともに、早期の情報把握と対応が可能になると考えています。

PC版では、取得した情報の位置がマップ上に表示され、被災地域や範囲の特定への活用が期待されます。

② 情報収集・発信のデジタル化推進に関する連携協定締結

市は、JX通信社が開発したアプリを使った情報収集・発信のデジタル化推進に関する協定を締結し、市民による情報提供の促進に繋がりたいと考えています。このアプリは、身の周りのリスク情報を投稿できる「情報提供機能」があり、この投稿内容がSNS情報集約システムに反映されるものです。

【協定締結式】

日時：6月12日（月）11：00～

会場：市役所本庁舎 3階 公室

2 システム導入等のメリット

- ・被害状況把握の迅速化
- ・電子地図上への表示による被災箇所の見える化
- ・対処優先度決定の迅速化
- ・現場調査する職員の安全確保
- ・災害情報資料の作成